藤岡家住宅平成二十二年十月～十二月の展示

壬生狂言の記録「菜の花」など藤岡家所蔵芸能資料

壬生狂言に用いられる道具や仮面をまとめた「菜の花」（昭和６年作成）。１６演目の道具についての写真資料と装束の写真が２１枚に纏められている。

文政３（１８２０）年、古事記に記されている八雲琴が再現された。その音色は神霊であったと伝えられる。当家には八雲琴とその譜が残されている。

森川如春「三番叟」
１８８７～１９８０年
藤岡家所蔵「春波洋々帳」より

近江女　矢野啓通作
安政５（１８５８）年宝生流免許皆伝。神楽・能・猿楽などの面打ちの奥義を極め、天才彫刻家「掘りの啓通と呼ばれた。近江女は壬生狂言に用いられたと言われる。

貞享２（１６８５）年　観世宗家　観世左太夫によって書かれた観世流の子ども用教本。「章句をもってこれを書き、悉く改正せしむる」とある。

平成二十二年十月一日（金）～十二月二十六日（日）
展示室２Ｆにて

五條市近内町５２６　☎＆ファックス　０７４７（２２）４０１３
登録有形文化財「藤岡家住宅」管理法人・ＮＰＯ法人うちのの館（やかた）
月曜日休館　月曜が祝日のときは休館して翌日開館。大人３００円・上人２００円